

# 13匹 心晴れやかに

川崎医科大総合医療センター1（岡山市北区）の敷地内にある庭園で、13匹のこいのぼりが春風にそよいでいる。入院患者や地元住民に親しんでもらおうと、市内の開業医らが2017年から続ける恒例の風景だ。

1匹1〜7匹で青、赤、黒と色とりどり。市民も入れる同院南側の深柢（ふかてい）ガーデンで、4月初旬に掲げられた。センター近くで開業する耳鼻科医の笠井英夫さん（77）らが寄贈を始めた。住民有志らが毎年500円ず

つ出し合い、5匹から始めて増えていったという。入院患者や医療従事者らに「心を晴れやかにしてほしい」との思いを込める。

同センターの内藤雅之・事務部長（55）は「スタッフも患者さんも毎年楽しみにしている。心温かい応援でありがたい」。5月半ばごろまで続けられる予定。

（中村建太）

